

# ちよつといーけ?

温故知新! 掛塚を知る「にーさ・ねーさ」の方々に、掛塚生まれの主婦二人組(のりこ&さゆり)がインタビュー。今回は、本町の芥田哲郎さんにお話を聞いてきました。

## 芥田哲郎さん 78歳(本町)



昔からいろんな機械が「動く」原理を考えるのが楽しかったという哲郎さん。農高の機械部では古い車を貰ってきてエンジンをばらしたり組んだりしたそうです。お仕事は建設会社に長くお勤めになり土木の世界で多くの公共事業にも携わってこられました。

●堤防でもよくアスファルトの舗装工事をしていますよね  
アスファルトはね、碎石や砂とかを練った合材を道路に広げて機械の後ろにあるアイロン板で均して、ロードローラーとタイヤローダーで締め固めていくだよ。真つすぐで平らな所ならいいけど新幹線の高架下とかは斜めになってカーブしてるもんで設計通りの厚さを確保するのが難しい。(厚さや密度など厳しい検査がある)デコボコになつてると「なんだ下手くそだなー」ってなるじゃん、そうならないようにやってくるのが技術なんだよ。

●他にはどんな工事をされたんですか?  
電柱ぐらゐの大きい杭打ち、下水道工事、橋(橋脚や橋台)の工事なんかもやったよ。大きな工事では山を崩してやった菊川の工業団地とかね。

●現場責任者になるとどんな仕事をしますか  
哲郎さんは土木工事に必要な車両の免許(一種は全て)や現場責任者に必要な資格(二級土木施工管理技士・一級建設機械施工管理技士等々)を数多く取得されました。

●現場責任者になるとどんな仕事をしますか  
工事が期間内に完成するように工期の管理、ちゃんとした物を作るように品質管理、事故が起きないように安全管理、赤字にならないように原価管理、この四つをやらんといかん。年度末はどの現場も工期が一緒だから材料も取りこだし、雨でも降れば仕事ができないからね。昼間は現場に出て大量の検査書類を作るのは夜しかない。その日の内に家に帰ればいい方だったよ。良く身体が持ったと思うけど仕事は嫌いじゃなかったな。後に残るじゃん、この橋は俺がやったとこだなんて。(笑)

●支援員をされている「生活応援クラブ」について教えてください  
基本的には困ってる人をお手伝いしようというクラブで高齢者や障害者とか助けが必要な人に入会してもらって支援員が手伝いに行くだよ。掃除や買い物、草取り、犬の散歩とかね。難しいことじゃないけど相手に喜んでもらえるのが一番いい。でも買い物頼まれると困るだよ、店のどこに何があるのかさっぱり分らない。(笑)

# 旧津倉家住宅が 国登録有形文化財に!



「旧津倉家住宅」が、国の登録有形文化財になることが決まりました。三月十七日の国の文化審議会で、旧津倉家住宅の「主屋」・「応接棟」・「土蔵」の三棟を登録するよう答申が出され、掛塚地区での登録有形文化財は三件六棟となります。

「文化財」とは、「人類の文化的活動によって生み出された有形・無形の文化的所産」と定義され、あらゆるものが含まれますが、その中で貴重なものが指定、選定、登録されて将来的に保存されるよう、法律(文化財保護法)によって定められています。文化財には、有形文化財、無形文化財、記念物、民俗文化財、埋蔵文化財などいろいろ分野があり、また有形文化財には絵画や工芸品、建造物などがあります。

文化財に対する考え方は、時代によって変わってきていて、三〇年くらい前から「保存から活用へ」といわれるようになりまし。大事なもののだから押入れの奥にしっかり保管しておくというのではなく、多くの人が文化財に触れて時代や文化を体験することができるようにしようという考えです。特に建造物は、古い建物を事務所や商店、旅館などに活用すれば、多くの人が身近に接することができます。このため、登録文化財は、外観は保存を義務付けられますが、内部は、居住空間や店舗等として改造することが可能なのです。

また、五年前に改正された「文化財保護法」では、更に「活用」が重視され、文化財を観光資源として積極的に活用し、経済的な裏付けによる保存効果を期待するようになってい



伊豆石で作られた土蔵

名倉慎一郎

## みんなと倶楽部

My hometown Kaketsuka

第29号

P1 旧津倉家住宅が国登録有形文化財に!  
P2-3 「いじやまいかけつか春」を開催  
P4 ちよつといーけ? 「芥田哲郎」さん(本町)

みんなと倶楽部の「縁の下の力持ち」で頼りがいのある哲郎さんに初めてお会いした頃の印象は、無口でちよつと気難しい人?(笑)でも今は違います!哲郎さんは無口ではなく寡黙で真面目で働き者、そして探究心があり何よりも優しい方なんです。まだありますね、芸達者!次のイベントでは是非「どじょう掘り踊り」を披露していただきたいです。(笑)

「取材・記事のりこ&さゆり」



支援先で譲り受けた三味線です。



このどちらかが9歳のお母様(笑)



普段とのギャップが(笑)これは生で見なくては!!

私たちが恒例の無茶振りで「梅は咲いたか桜はまだか」を弾いてもらいました。目を瞑って聞いていると時代劇のお座敷遊びのシーンが目に見えました。(笑)日本の楽器の音色は風流でいいですね。

●貴船神社の総代さん  
今日もやってきたけど昨年から境内の掃除を神社の世話人で行うようになったよ。氏神様の事だもんでそうやって氏子みんなが神社を支えて恩恵を受けるってことが大事だね。強制じゃなくて出来る人は来てくださって、出来る範囲で広く浅くやってもらいたいし「来てくれるだけ」それだけでもいいと思うだよ。

●三味線を見せていただきました。三味線を始めたきっかけは?  
従弟の芥田のぶちやが「俺、三味線やってるでなあ」って言ってさ。そーいや家にも三味線があるって言ったら、「お前もやっちゃいいじゃないか」ってね。いま三味線は二棟あって、一つは母親が子供の頃に道楽子に使ったやつで、母親の祖母が買ったもの。明治半ばの百年以上前の年代物だけ直してもらっただよ。もう一つは「生活応援クラブ」で支援へ行ってるお宅にあつて、邪魔で捨てらるつていうのを勿体ないで直して貰ったよ。(昭和八年と書いてありました)

# よさこい



商工会女性部のよさこいチーム



## フラの披露



フラダンス同好会の皆さん

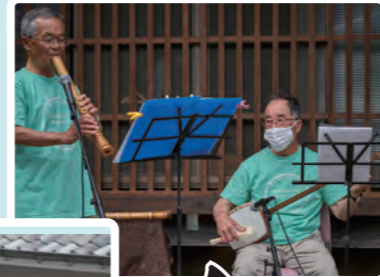


掛塚屋台音頭や、花笠音頭など、楽しくみんなで踊ってくれました。

中町のお囃子の披露



掛塚屋台囃子保存会の方々もお囃子を披露して盛り上げてくれました。



黒田節を熱唱



尺八と三味線の演奏を披露してくれました。

薦屋さんにもご協力頂きました。

●ご主人が津倉邸の番頭だったという渡辺さんが息子さんと来場されました。

「主人が昔この番頭をしていました。私は来たことありませんでしたが、今日はどうしても一緒に連れてきてあげたくて…」と、ご主人の遺影を手に見学されました。

津倉邸の公開時、邸内の展示物はその都度変わります。今回は廻船業が盛んだった頃のジオラマや天竜川に関する資料を展示、配布していました。ですので「前に行ったことあるからもういいや!」と思わずに二度三度と足をお運びいただければと思います。またのご来場をお待ちしております。

5月 27日 土曜日 28日 日曜日

# いじまいかけつか春 & 旧津倉邸公開

ジオラマと説明に興味津々



熱心に聞いてます



町歩きに沢山の方が参加してくれました。



天気にも恵まれた「いじまいかけつか春」  
今回もたくさんの方にご協力いただきとても楽しいイベントとなりました。  
天候にも恵まれ、土曜日は河川敷で「いわた土木LOVEフェスタ」が開催されたこともあり津倉邸にもたくさんの子供たちが見学にきてくれました。日曜日は津倉邸南側道路を歩行者天国にして出店や出し物で大いに盛り上がり、庭園ではメダカとりや餅つき体験も楽しんでいただきました。普段は静かな町が賑わっている写真を集めました。

## お餅つき



餅つき体験もできました! お餅も美味しく食べました!



採れた野菜やかき氷、ドリンク類、ケバブなどのお店が出店してくれました。



出店:ハセバーさん、しおさい竜洋さん、早村さん、ロイヤルケバブさん

●島田そうたくん・けんたくん  
ご両親と邸内を見学に来てくれたそうたくんとけんたくん。2階に展示されたジオラマを熱心に見て案内係の説明にもとても熱心に耳をかたむけていました。帰り際、少しだけお話を聞かせてもらいました。  
邸内の見学はどうでしたか? 楽しかった?  
「そうたくん」楽しかった、住んでみたくなった。一番心に残っているのは窓ガラスが歪んで見えるのが面白かったなあって思いました。  
「けんたくん」階段も上に閉めるところがあって面白かった。

●ゆうまくんとご家族  
今回のイベントで土曜と日曜の二日も来場してくれたゆうまくんとご家族の皆さん。一日目はお母さんとお婆ちゃん、二人でジオラマを熱心にみて説明を聞かれています。そして二日目はお爺ちゃんも一緒に再来場され、前日にゆうまくんと案内係の説明をしっかりと聞いてくれたお母さんとお爺ちゃんを案内させていただきました。お母さん、さすがです!  
邸内の見学の後にはまち歩きにも挑戦してくれました。前日の案内係だった鈴木彰さんと手を繋いで町を歩いてくれたとか。とても可愛かったと案内係がうれしそうに話していました。(笑)

津倉邸公開には  
こーんな人たちが  
来てくれたに

